



紙面記載の画面は
Windows7+Office2013
操作環境によっては表示
が異なる場合があります

白帯級
初級レベル
茶帯級
中級レベル
黒帯級
上級レベル

茶帯級

レベルに枝番をつけたい。どうする？

Excel

	A	B	C
1	レベル	エクセル内容	レベル+枝番
2	基礎	セルの書式設定	
3	基礎	図形の挿入	
4	基礎	印刷範囲の設定	
5	基礎	SUM関数の使い方	
6	中級	複雑な関数の利用	
7	中級	ピボットテーブル応用	
8	中級	データベースを作ろう	
9	上級	別シートの値を抽出	
10	上級	VBAで自動化	
11	上級	差込印刷とラベル	
12	上級	複数の条件で抽出	
13	上級	累計の自動計算	

上の表に注目。A列・B列には基礎～上級のレベルと内容があり、C列にはレベル別に枝番をつけたいと思う。

要するに、

「基礎-1」「基礎-2」・・・「基礎-4」

「中級-1」「中級-2」「中級-3」

「上級-1」「上級-2」・・・「上級-5」

といった具合に各レベルの何番目かカウントをつけた状態だ。まるで見出しのように枝番をつけたい場面というのは意外と多いもの。例のように行が少ないなら手て入力すれば良いかも知れないが、もし数十行～数百行もあったら作業も大変だし間違いも起こりやすくなる。では、何かいい方法がないか考えてみよう♪

考え方のポイント

- ①レベル名をまずC列に表示する
- ②連結する際は“-”（ハイフン）で繋げる
- ③A2を起点にその行までの各レベルの個数をカウントする → COUNTIF関数を利用

この3つができれば目的の枝番をつけることができそう。この手の問題は①～③のポイントのように、完成形をイメージしながらそれぞれのポイントとなる部分を分けて考えること（言ってみれば分解）が糸口となる。難しく考える必要はない。

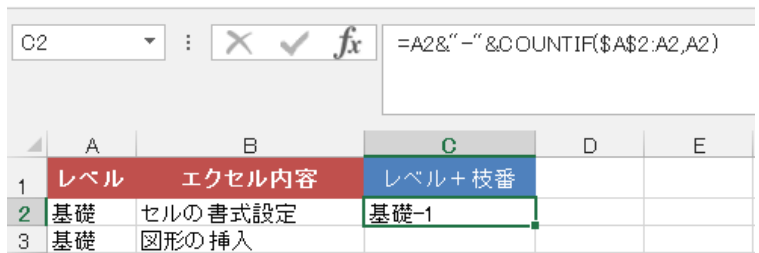
エクセルの得意な人はこの手の分解が得意なのだ。まず分解し、目的の答えを出すための方法を導く。

ちょっとした閃きでイッキに解決だ！！

- ① まずC列にレベル名を表示は、単純に=A2で良い。これを“-”（ハイフン）で繋げるから=A2&"-"だ。最後にA2を起点にレベルをカウントすれば良い。よって関数は以下の通り。

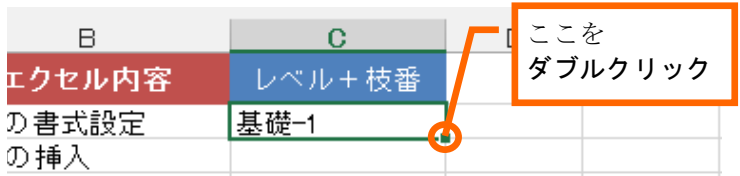
セルC2 =A2&"-"&COUNTIF(\$A\$2:A2,A2)

レベル名&ハイフン&(A2を起点にその行までの同じレベル名の個数)



セルC2には「基礎-1」と表示されたはずだ。

- ② うまくいったらセルC2のフィルハンドルをダブルクリック。



すると目的の枝番がレベル別にイッキに挿入された。さあできたかな？ 思ったよりもカ～ンタン♪

	A	B	C
1	レベル	エクセル内容	レベル+枝番
2	基礎	セルの書式設定	基礎-1
3	基礎	図形の挿入	基礎-2
4	基礎	印刷範囲の設定	基礎-3
5	基礎	SUM関数の使い方	基礎-4
6	中級	複雑な関数の利用	中級-1
7	中級	ピボットテーブル応用	中級-2
8	中級	データベースを作ろう	中級-3
9	上級	別シートの値を抽出	上級-1
10	上級	VBAで自動化	上級-2
11	上級	差込印刷とラベル	上級-3
12	上級	複数の条件で抽出	上級-4
13	上級	累計の自動計算	上級-5
14			

なお、例題のレベルは基礎・中級・上級がキレイに並んでいるが、配置がバラバラの状態でもキチンと枝番がつく！

- 『まなびかんニュース』の主な配布場所：まなびかん(生涯学習センター)・市役所・行政センターやコミュニティセンターなどの公共施設をはじめ市内のJR・京急各駅、主な郵便局や金融機関、医療関係機関などに置いてあります。
- 配送事情・施設の都合などにより、1日に配架できない場合があります。